

平成22年7月11日執行

参議院和歌山県選挙区

選出議員選挙

# 選挙公報

和歌山県選挙管理委員会

もっと政治を変える!

## 島くみこプロフィール

1956年(昭和31年)3月4日生まれ  
和歌山市吹上小学校卒業  
和歌山信愛女子短期大学附属  
中学校 高等学校 短期大学卒業

現在 民主党 和歌山県連副代表  
日本NPOセンター 評議員  
社団法人和歌山青少年育成協会 理事

経歴 和歌山子ども劇場職員  
田辺親子劇場事務局長  
子ども劇場協議会事務局長  
わかやまNPOセンター専務理事  
県NPOサポートセンター長  
子どもNPOセンター 副理事長  
和歌山大学非常勤講師

和歌山 生まれ です  
E-mail info@shimakumi.jp  
HP http://www.shimakumi.jp



和歌山を元気にします

●商店、中小企業が9割を占める和歌山で、仕事を生み、人とお客に働く意欲と活気を取り戻します。  
●農林水産業の復興で環境保全と雇用創出に取り組めます。  
●恵まれた和歌山の自然環境を活かした新しい産業を創出し、人と自然が共生する循環型社会を実現させます。



誰もが安心して暮らせる社会を

●医療・介護を充実させ、安心して生活が送れる制度に立て直します。  
●新しい公共の育成支援、みんな笑顔になれる和歌山を目指します。  
●安心して介護サービスと障がい者支援に取り組めます。



格差のない希望ある暮らし

●おばあちゃんから専業主婦、働く女性、子育てママまで、すべての女性の目線に立つて、暮らしを支える施策を講じます。  
●働く人が報われる雇用の仕組みづくり、命を守るセーフティネットを整備します。  
●複雑で不公平な年金をすべて「一元化」し、老後も安心して暮らせる年金制度を確立します。

幸せを支え合う社会をつくりまします!

昨年の夏、このままの政治では「あかん」と、多くの方々がその強い思いをもたれました。  
そして、政治を変える流れが始まりました。私たちは今、もっと変わらんとあかん、そう思っています。  
私たちの暮らしは政治に直結しています。だからこそ、生活者の声をとけ、行動をするため決意いたしました。女性の視点を活かして、政治をもっと変えていきたい。その強い決意のもとで、参議院選挙に挑戦いたします。  
島くみこ



しまくみこ  
民主党公認 国民新党推薦 連合和歌山推薦

比例区は「民主党」女性視点で政治を変える

## ストップ!消費税大増税 普天間基地は無条件撤去を

財界・アメリカにモノをいい、国民の立場で政治を動かします



日本共産党公認  
吉田まさや  
34歳

財源は

年間5兆円の軍事費を1兆円削り、大企業・大資産家のゆきすぎた減税を元に戻せば7兆円の増収増税に。くらしと社会保障の財源はできます。

子どもの医療費無償化を子育てを総合的に支援します。国の制度として子どもの医療費無料化を。保育や教育費の負担を減らします。

後期高齢者医療制度を後期高齢者医療制度に引き上げ、負担を軽減します。高齢者の生活を支えるため、介護保険料の引き上げ、中小企業者支援を。

雇用と中小企業者を守るルールづくりを「労働者派遣法」の抜本改正で、使いやすさを。労働者をなくし、「雇用は正社員があたりまえ」の社会を。最低賃金の引き上げ、中小企業者支援を。

農林漁業の再生へ輸入自由化を進める日本FTAや日豪EPAを中止。農産物の価格保護、所得補償の充実、林業、漁業の再生へ力をあわせませう。

普天間の無条件撤去(アメリカと交渉を)日本共産党は米政府に、「普天間基地の県内移設は許さない」という沖縄県民の声を伝え、無条件撤去を要請しました。「県内移設」を決めた日米合意を白紙撤回し、撤去を求めアメリカと交渉するよう、解決の道です。

消費税大増税許せません  
無年金のお年寄りにも、低賃金の労働者にも、低所得の学生にも負担が重い消費税。10%になれば平均的な4人家族で年34万6千円もの負担になります。増税はくらしを壊し、消費を冷え込ませます。  
消費税が導入されて22年、その税収(224兆円)はほぼ法人税の減収分(208兆円)にあてられました。今度の増税計画も法人税減税と一体。これでは庶民の負担増が大企業減税の「穴埋め」に使われてしまいます。財政再建もできません。

<プロフィール>  
高野山大学文学部卒業。日本民主青年同盟県委員長など歴任。青年の雇用問題や平和運動にとりくんでいました。岩出市在住。

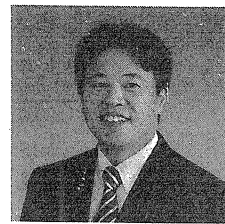
比例代表は「日本共産党」とお書きください

## 「未来目線」

～未来のために、今を変える～

「和歌山のために、そしてこの国のために」

初当選以来、一貫した私の政治理念です。中央(東京)と地方(和歌山)の格差は「決定的」になってはいけません。地方で生まれた一人一人が、ふるさとで生き生きと夢を持って暮らしていける。そんな日本の国づくりのために、力を貸して下さい!



自由民主党公認 参議院議員  
つるほ 庸介  
(43歳)

### 「つるほ庸介の約束」

画一的な「全国一律基準・規制」を撤廃し、どこにいても頑張れる、頑張った人が報われる社会へ!

#### ① 国土交通政策

京奈和自動車道早期開通/湯浅御坊道路4車線化/田辺IC以南への高速道路延伸/府県間道路(和歌山県・大阪府間)の早期開通/阪和道阿部ICの設置/紀の川サイクリングロードの整備による河川敷整備

#### ② 福祉政策

安心して暮らせる、安心して「頑張れる」ためのセーフティネットの充実/和歌山県の地域事情に即した(医療・介護等)の福祉体制の充実

#### ③ 農林水産政策

農業6次産業化(1次:生産+2次:加工+3次:流通・販売)による、新しいビジネスモデルの創出/県内産品の国内、国外市場への販路拡大/流通制度改革による所得向上

#### ④ 和歌山発 成長戦略

太陽光・風力・ミニ水力発電などの新エネルギーを活用した地域活性化/「点」ではなく「面」で売る観光、地域のモノ・食・文化などを発信する「マーケティング」の向上

#### ⑤ 雇用政策

職業訓練の公的補助(資格取得助成など)/新規就労者増大策(「トライアル雇用」の改正)/求職者に対するモラル教育

#### ⑥ 過疎地域政策

鳥獣被害対策や医療過疎などの問題に対処することは勿論のこと、地域専門指導員による過疎地域の活性化

#### ⑦ 教育政策

脱ゆとり教育の徹底/意欲に燃える次世代の育成

### つるほ庸介プロフィール

1967年2月5日生まれ(43歳)

#### ■略歴

・東京大学法学部卒業  
・代議士秘書  
・平成10年 初当選(当時選挙区史上最年少当選)  
・国土交通大臣政務官(2期)  
・平成16年 再選  
・参議院厚生労働委員長、自由民主党政務調査会副会長、自由民主党政務調査会水産部会長など、党内閣の役職を歴任

#### ■趣味

ハンドボール、サイクリング、スキューバダイビング、テニス、油絵